

分科会 1

多様性が新たな価値を創出するまちづくり

長寿化、少子化、その帰結としての人口減少という人口構造の大きな転換期あって持続可能な、誰もが安心して快適に暮らし続けられるまちをいかにして形成するか、新たなまちのあり方の模索が始まっている。限られた地域資源を共用し、既存の枠組を越えた包摂的な取組が求められており、地域における様々な主体が連携・協働して、新たな価値を生み出すまちづくりの事例を共有し、さらなる可能性を追求する。

パネルディスカッション

- 多様なステークホルダーによる協働体制づくり
- 乗り越えた難関（例えば制度的規制など）
- 今後の新たな展開と可能性